

# [超高齢社会×デジタル社会]アンケート 集計と考察

2024.01.22

一般  
財団法人 **AVCC**  
Advanced Valuable Communication Center

# 【アンケート実施の背景①】人と人とのつながりが「親(したい)」から「疎(うとい)」へ

日本の高齢化率は29.1%で世界トップ、世界に先んじて高齢化、少子化、人口減少が進んでいます。東京都心から西に2時間程にある山梨県北杜市のデータ（右図）の令和3年と4年の比較を見ると、人口46,463人→46,042人、65歳以上18,092人→18,415人、100歳以上57人→74人、高齢者世帯数3,844世帯→4,247世帯、在宅独居高齢者数3,901人→4,367人となっており、高齢化率は40.0%に拡大、おひとりさま率も拡大しています。

戦後暫くの間は家族は同居が前提で、1978年厚生白書では同居は「我が国の福祉における含み資産」と記述され、当時高齢者の約7割が子供と同居し面倒を見るのが当たり前とされていました。しかし家族の姿は半世紀で一変、2020年国勢調査では、3世代同居世帯は4.1%、夫婦+子供2人世帯は10%を切り、非婚化が進み、独り世帯が一般世帯の38%を占めています。およそ3組に1組が離婚、高齢化により配偶者と死別後の長い独り生活等もあり、おひとりさま率が拡大し、人と人とのつながりが「親(したい)」から「疎(うとい)」に向かっています。

## 山梨県北杜市

	令和3年	令和4年
人口	46,463人	46,042人
65歳以上	18,092人	18,415人
100歳以上	57人	74人
高齢者世帯数	3,844世帯	4,247世帯
在宅独居高齢者数	3,901人	4,367人

高齢化率  
⇒40.0%

## 【アンケート実施の背景②】誰も置き去りにしないデジタル社会へ

日本政府は、2015年に策定したSociety 5.0の概念を「超スマート社会」と説明していますが、AVCCでは「デジタル社会」と説明しています。デジタル社会は、Virtual空間(仮想空間)とReal空間(現実空間)を高度に融合したシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会のことです。社会実装されている技術革新として、2008年から始まったスマートフォンの普及をはじめ、大規模なクラウドコンピューティングの普及、生成AIの進化が挙げられます。IoTにより“モノ”と“人”がネットワークで繋がり、個人のニーズに合わせたタイムリーかつ適切なサービスの提供が期待されます。

人と人とのつながりが物理的精神的に「疎(うとい)」になっていく社会で、デジタルサービスによる「親(したい)」の復元が必要ですが、スマートフォンが使えない、持てない国民も多く居られます。また、高齢者や障がい者といったデジタル弱者の方々をどのようにデジタル社会に誘うのか？日本社会に課された喫緊の課題ではないでしょうか。



### 第4次産業革命

DX (デジタルトランスフォーメーション)  
AI IoT ブロックチェーン

# [超高齢社会×デジタル社会]アンケートの概要

目的：以下3点を明らかにするために調査を実施した

- ①高齢者の「生きづらさ」の実情
- ②高齢者のコミュニケーションとデジタル活用の課題
- ③高齢者が地域社会で活躍することの意義と課題

対象者：高齢者65歳以上、高齢者世帯または在宅独居高齢者

期間：2023年11月3日～2024年1月4日まで

記入：本人記入、支援者による聴き取り

メルマガ読者：[メッセージ from KK<sup>2</sup> 2023年11月3日発行](#)

[メッセージ from KK<sup>2</sup> 2023年12月15日発行](#)

地域で依頼：岩手県大船渡市 [居場所ハウス](#)、

鹿児島県鹿屋市 [やねだん集落](#)、

山梨県北杜市 有志、縁者の皆さま、AVCC職員

アンケートへのご意見ご指摘：

- ・ダブルバーレル質問があり答えにくかった。
- ・カタカナ用語が多く意味が理解できない言葉があった。
- ・文字が高齢者向けとしては小さくもう少し大きくして欲しい。

※設問・回答選択肢の精査が足らず申し訳ありませんでした。

回収数：175人（内聴き取り 35人）

65歳～	36人
70歳～	35人
75歳～	43人
80歳～	38人
85歳～	17人
90歳～	6人
合計	175人

男性	83人
女性	92人

オンライン	80人
用紙記入	95人

**多数の高齢者と支援者にご協力いただきました、深く感謝します。**

# 考察①：高齢者はどんな「生きづらさ」を抱えているか？

## 1. 体力の衰えに健康習慣の実践が肝要

「日常生活で一番困っていること」(設問4)として「体力の衰え(55%)」が挙がる一方、「介護サービスを利用したことが無い」(設問6)が79%と多く、日常生活の生きづらさを自ら努力し生活をしていることが推察できる。34%が「健康上の問題はない」(設問7)としているが、加齢による体力や機能の衰えに対応する更なる健康習慣の実践が肝要である。

## 2. サポート不足には「支え合い」

自分が必要とする支援(設問18)に「家庭内での支援(調理や掃除など) (19%)」や「外部での支援(買い物や通院など) (16%)」が挙がり、介護サービス利用(設問6)は「定期的に利用する(7%)」と少ない。これは地域でのサポート体制不足が推察されるが、人手不足に妙薬は無いので、自分が得意なことで他者を支え、不得意なことは支えられる「地域での支え合い」が肝要である。

## 3. 社会的孤立感とコミュニケーション

「支援を求める相手がいない」(設問11)と回答したのは3%と少数だが、「コミュニケーションを助ける支援(12%)」(設問18)の必要性があることから、社会的な繋がりやコミュニケーションに不安を抱える高齢者が一定数存在すると推察できる。高齢者が孤立感を感じることは精神的健康を損ない、生きがいを失う原因にもなるため、地域で「疎(うとい)」を「親(したい)」に転換する地道なコミュニケーションが求められる。

### 4. 情報収集や手続きのデジタルサポート

「情報収集や手続きの支援(22%)」(設問18)を必要とする回答がもっとも多いことから、高齢者が情報へのアクセスや様々な行政手続きに障害を感じていることが伺える。デジタル化が進む社会において、インターネットが情報やサービス利用の主流となる中、高齢者にとって現在のアクセシビリティへの適応は相当困難を伴うものであり、アクセシビリティの改革とデジタルサポート体制の整備が求められる。

**(注) 考察①は、設問4,6,7,9,11,18の回答データを総合的に分析考察した。**

### 1. 健康情報へのアクセシビリティ向上

「健康に関する情報」(設問1)は、「家族や友人から(22%)」「医者が看護師から(28%)」「テレビや新聞から(30%)」から得ており、「スマートフォンやパソコンから」は17%と少ない。これはデジタルリテラシー、ヘルスリテラシー（健康や医療に関する正しい情報を入手し理解して活用する能力）不足、およびスマートフォンからオンラインリソースにアクセスする際のバリアが存在すること、等が考えられる。自らの健康情報をデジタル形式で入手し視える化する、自分に合う健康習慣を実践する等、自ら理解し活用する能力の向上、もしくはデジタルリテラシー・ヘルスリテラシーをサポートするサービスが求められる。

### 2. 「疎(うとい)」を「親(したい)」に転換する地域コミュニティへ

独居もしくは高齢者世帯の高齢者が、日常的または定期的に地域や近所の人とコミュニケーションする繋がり(設問13)は「毎日会話す機会がある(32%)」「週に数回は会話する機会がある(35%)」「月に数回会話する機会がある(20%)」と概ね保たれているが、物理的に離れた場所に住む、過疎が進み周辺に人が減る、人との関りを好まない等の事情から、人と人の繋がりが「疎(うとい)」になりコミュニケーションが取れていない層も存在する(「ほとんど会話する機会がない」14%)。災害大国日本に生きる私たちは、地域コミュニティ強化とデジタル活用を促進して「疎(うとい)」を「親(したい)」に転換する活動が求められる。

### 3. 「学び合い」でデジタルデバイド解消

デジタルツールを「使ったことがない(28%)」、「使いたいが、サポートがないのでできない(5%)」(設問16)高齢者がいる一方で、「情報収集やコミュニケーションを行っている」(49%) 高齢者もあり、利用できる高齢者とそうでない高齢者との間にデジタルデバイドが存在する。適切なサポート体制や教育機会の整備が肝要だが、得意は教え、不得意は学ぶ、世代を超えた「学び合い」を地域で進め、デジタルデバイドを解消することが重要である。

### 4. 高齢者を置き去りにしないデジタル社会を

Society5.0やデジタル社会への理解(設問15)が乏しい高齢者が多い(「知らない」54%、「名前は聞いたことがあるが、詳しくは知らない」22%)ということは、高齢化率が高い地域は置き去りされることを示唆している。地域では世代を超えてデジタル社会のメリットを理解する学びが不可欠であり、高齢者でも容易に取り扱うことができるデジタルツールへのアクセシビリティを実現することで、高齢者が社会から孤立することなく、デジタル社会の恩恵を受けながら生活の質を高めることが可能になる

**(注) 考察②は、設問1,13,14,15,16,17,19の回答データを総合的に分析考察した。**



### 1. 高齢者の持つ潜在的な意欲

多くの高齢者は、地域に積極的に関わることで地域社会が活性化することを重視している(設問10「自分のペースで参加したい(61%)」,「積極的に参加したい(12%)」)。また「自分のペースで参加したい」と望んでいる方が多いということは、生きにくさを抱えながらも地域活動に関わりたいという「潜在的な意欲」を反映していると推察される。

### 2. 知識と経験の伝承は貴重な資源

自身の「経験や知識を地域社会に役立てる機会があれば参加したいと思いますか」(設問20)では、「体調や時間に余裕があれば参加したい」が60%となっており、自身の経験や知識を地域社会に還元することに関心と意欲を持っていることが推察される。世代を超えて若い世代への知識や伝統の伝承は地域社会の貴重な資源であり、地域活性化につなげていける可能性がある。

### 3. 生きがいの提供

地域社会への積極的な参加(設問20「積極的に参加したい(14%)」,「体調や時間に余裕があれば参加したい(60%)」)は、高齢者に新たな生きがいを提供する手段となることが期待できる。地域で何らかの役割を持つことで達成感や充足感を得ることができ、自らの存在を証明し自己実現や健康的な精神状態の維持に繋がる。この意欲を受け入れ、社会経験豊富な高齢者を貴重な資源として活用することで、地域の「疎(うとい)」を「親(したしい)」に転換できる可能性がある。

### 4. 高齢者のデジタルスキル向上

高齢化社会で「生活スキル・デジタルスキルの向上(10%)」が重要(設問8)という回答は少ないが、高齢者にデジタル社会の効用が伝えられていないことにも起因する。デジタル社会においてデジタルスキル活用が不可欠であるという認識のもと、高齢者のデジタルスキル向上が図られれば、高齢者が社会参加する機会が拡大する。高齢者は長い生活の中で蓄積された多くの知恵や経験を、世代を超えて共有することで地域社会の活性化へ貢献することが可能である。

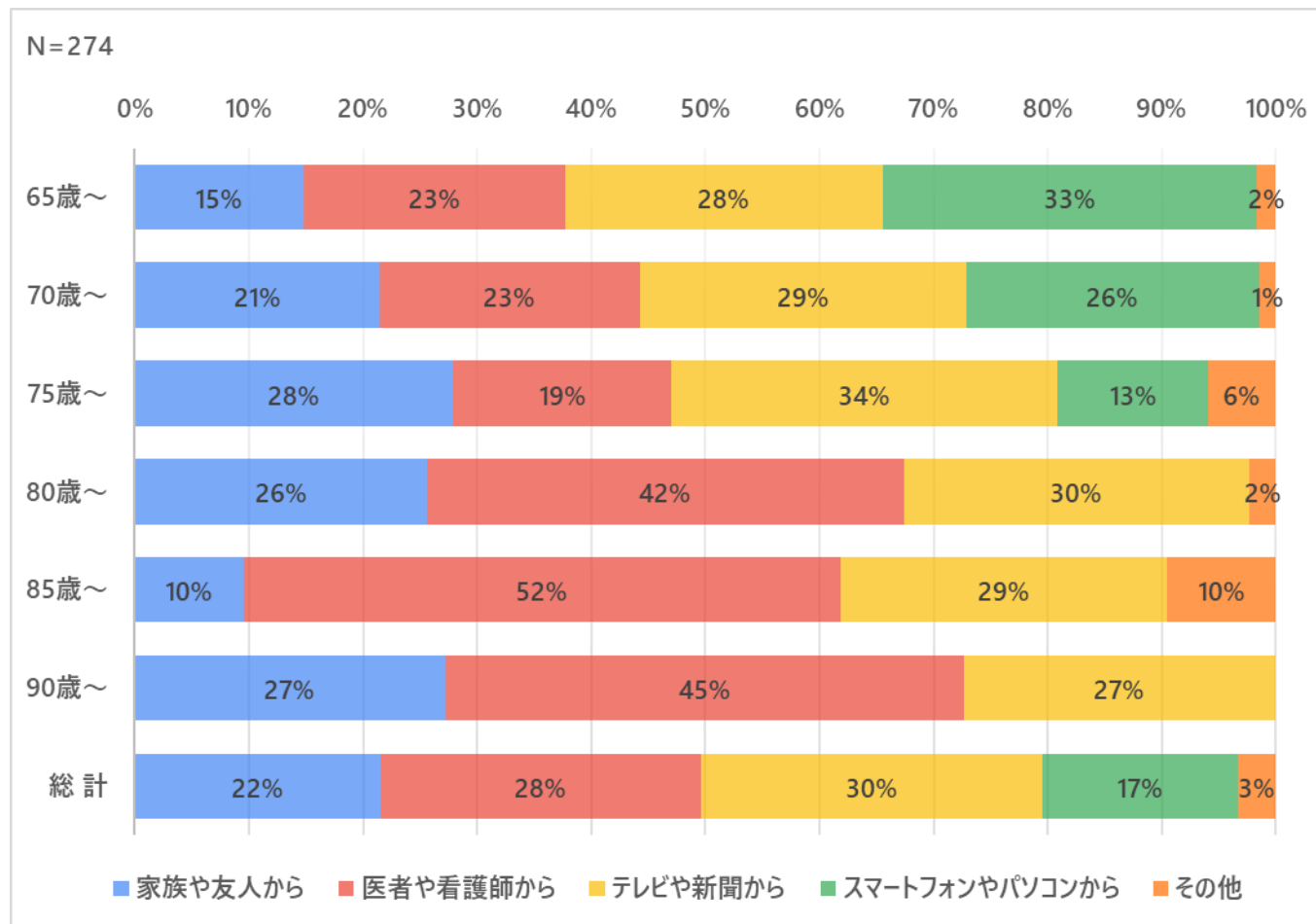
**(注) 考察③は、設問2,3,5,8,10,17,12,20の回答データを総合的に分析考察した。**

## 設問1：健康に関する情報はどこで得ていますか？（複数回答可）

	家族や友人から	医者や看護師から	テレビや新聞から	スマートフォンやパソコンから	その他
65歳～	9	14	17	20	1
70歳～	15	16	20	18	1
75歳～	19	13	23	9	4
80歳～	11	18	13		1
85歳～	2	11	6		2
90歳～	3	5	3		
総計	59	77	82	47	9

### ◆その他：主な回答

- ・書籍・週刊誌(3件)
- ・市民検診から
- ・ケアマネジャー
- ・スポーツ仲間とお客さんから
- ・義母の代理で回答させていただきます。認知症となりグループホームにいます。デジタルとは無縁になりました。しかし、医療・介護・金融などの手続きを家族が代理にしなくてはなりません。家族が取り残されると、二倍以上のリスクが生じるということも懸念しなくてはならないな・・・と感じています。介護世代が高齢化する今、私を含め、課題が多様化していますね。アンケートとずれています。意見として書かせていただきました。

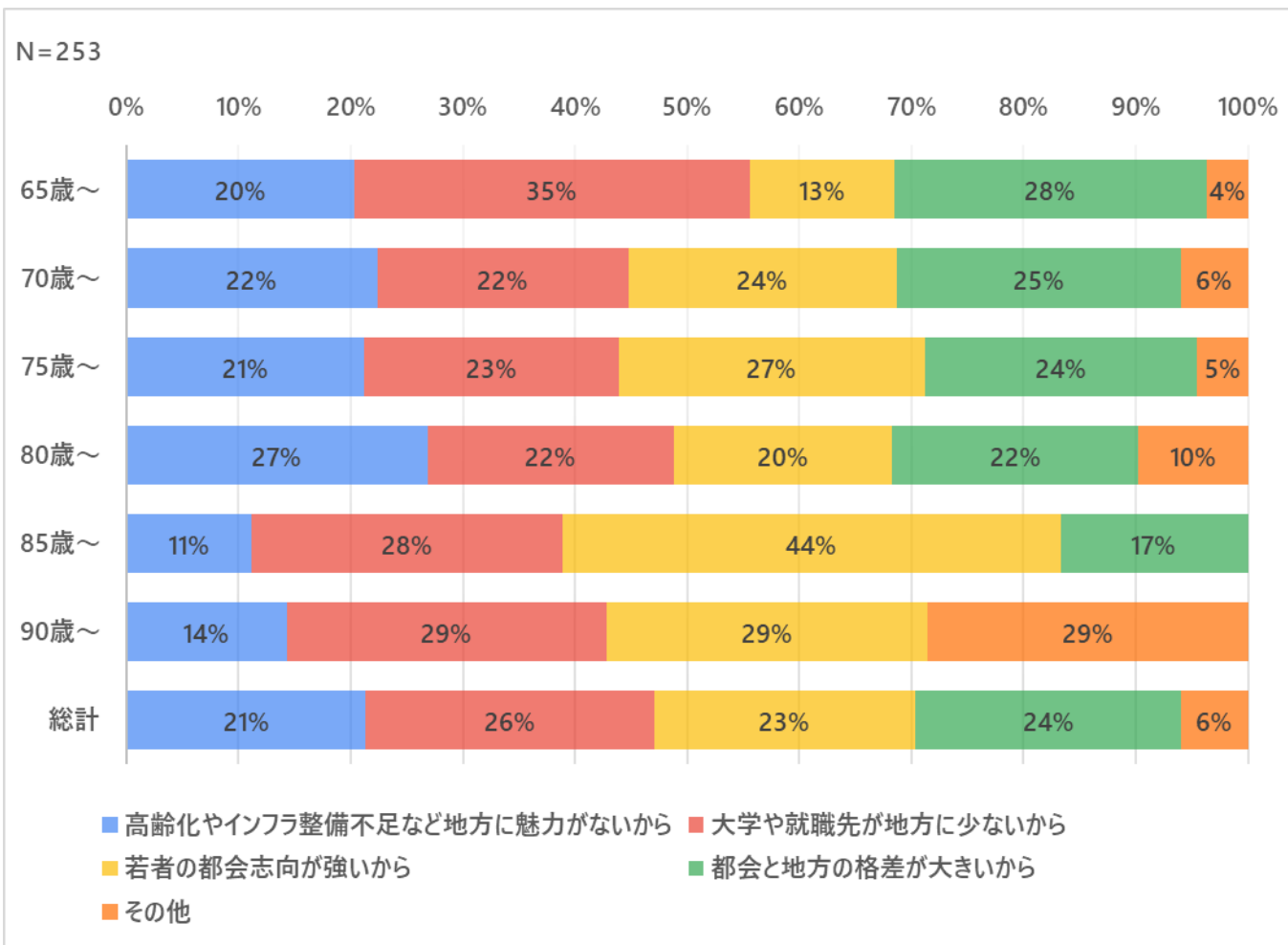


## 設問2：地方の過疎化が進む原因についてどう思いますか？（複数回答可）

	高齢化やインフラ整備不足など地方に魅力がないから	大学や就職先が地方に少ないから	若者の都会志向が強いから	都会と地方の格差が大きいから	その他
65歳～	11	19	7	15	2
70歳～	15	15	16	17	4
75歳～	14	15	18	16	3
80歳～	11	9	8	9	4
85歳～	2	5	8	3	
90歳～	1	2	2		2
総計	54	65	59	60	15

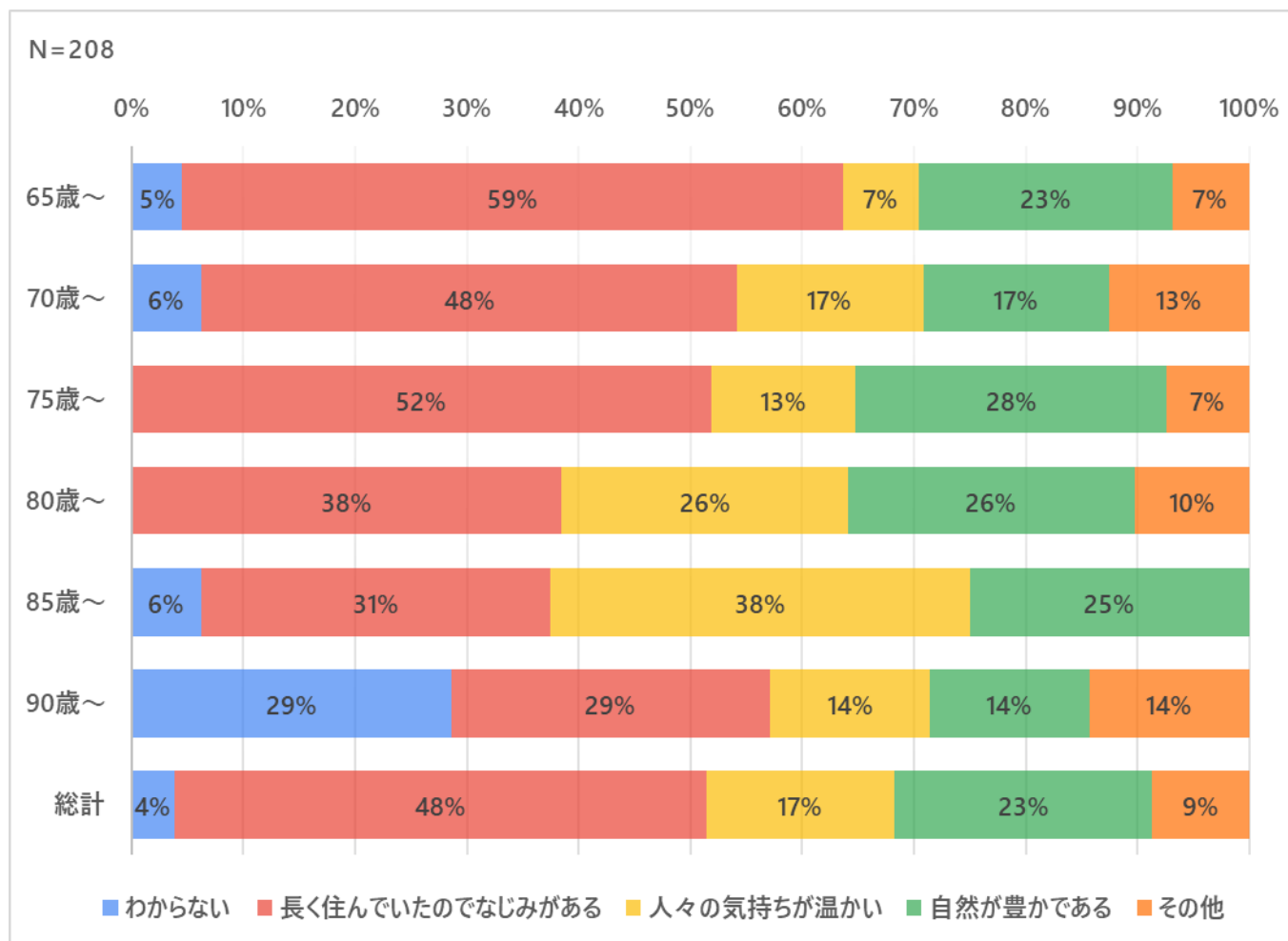
### ◆その他：主な回答

- ・もの、金、時間に偏ったの世の常なり。
- ・働く場所、職業の選択がない（少ない）
- ・住・食生活の快適性
- ・地方に高度な医療体制がない。もう少し均等に配置あるいは緊急時の移動手段の整備（ドローン等）。
- ・人口減への対応をもっと積極的に
- ・病院、公共交通機関、食品スーパーが近くにない、住民高齢化のため、車に乗せてくれる人がいない。自治体の方針にコンパクトシティの傾向があり、中心部に資源が集中しがち。就職先が少ない。そのため若者に敬遠されている。



設問3：あなた（代理の場合は対象の方）が住んでいる地域の良い点は何ですか？（複数回答可）

	わからない	長く住んでいた のでなじみがある	人々の気持ち が温かい	自然が豊か である	その他
65歳～	2	26	3	10	3
70歳～	3	23	8	8	6
75歳～		28	7	15	4
80歳～		15	10	10	4
85歳～	1	5	6	4	
90歳～	2	2	1	1	1
総計	8	99	35	48	18



◆その他：主な回答

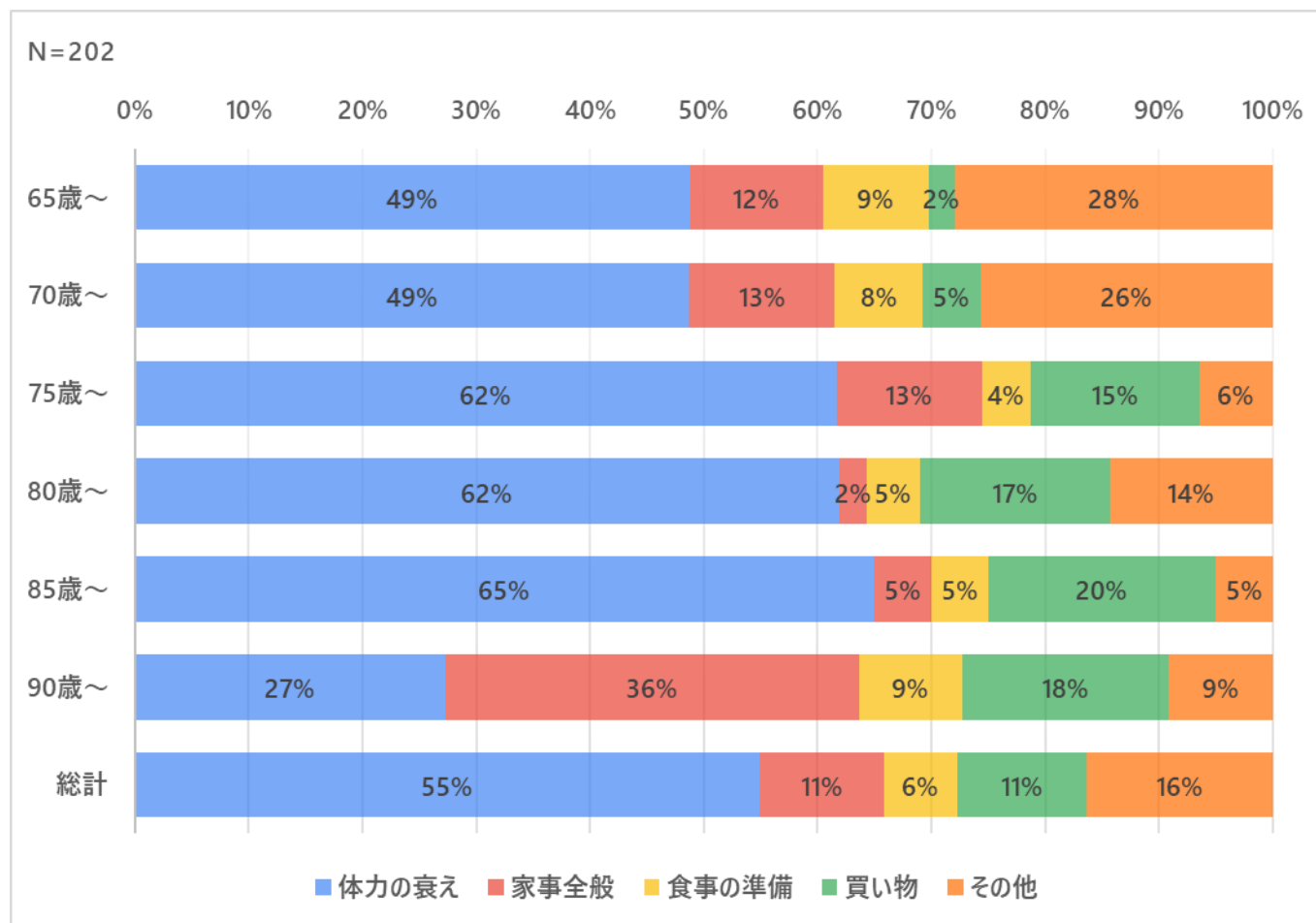
- ・交通、商業施設、医療、文化教育、娯楽施設などが便利。
- ・生まれ故郷であり生活するのに便利
- ・交通の便が良い、人と人との繋がりが結構ある
- ・インフラが整備されている等の都会の良さがある
- ・人々の気持ちが温かい、居場所ハウスでみなさんが今までの経験等を活かして生き生きと働いていること
- ・地域が結束している

## 設問4：日常生活で一番困っていることは何ですか？（複数回答可）

	体力の衰え	家事全般	食事の準備	買い物	その他
65歳～	21	5	4	1	12
70歳～	19	5	3	2	10
75歳～	29	6	2	7	3
80歳～	26	1	2	7	6
85歳～	13	1	1	4	1
90歳～	3	4	1	2	1
総計	111	22	13	23	33

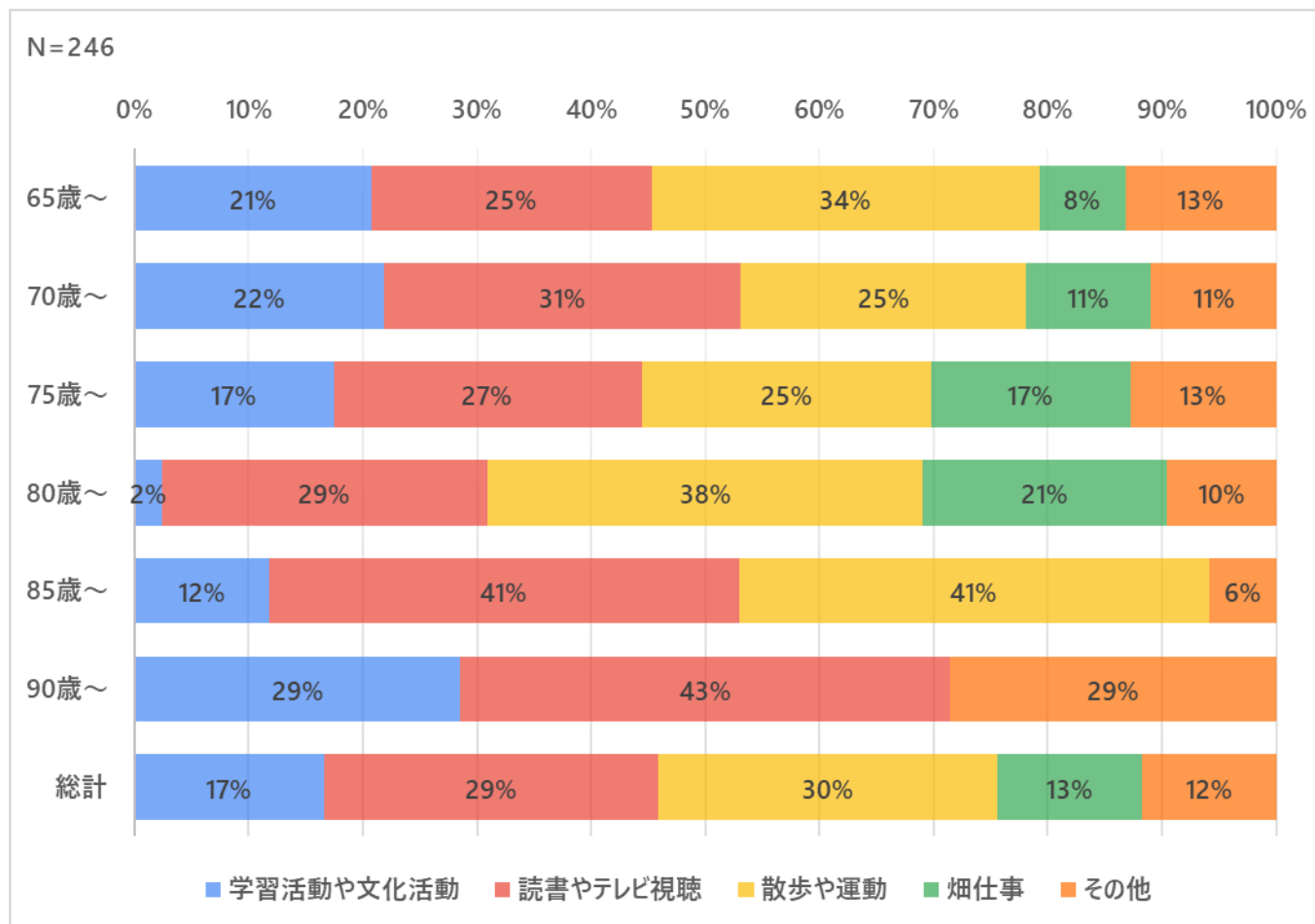
### ◆その他：主な回答

- ・ない(14)
- ・遠方への外出が困難になった
- ・今は車を運転していますが10年後が心配です
- ・認知症の傾向。物覚えが悪くなったこと。
- ・信頼できる医療機関の不足。
- ・日常的に親を見守り続けることができないことを非難する周りの目。介護制度を利用していても、なぜ身内が直接やらないのかという圧力。
- ・多世代コミュニティづくりのきっかけが少ない
- ・コミュニティへの参画のやり方がわからない。



## 設問5：趣味や娯楽活動は何をされていますか？（複数回答可）

	学習活動や文化活動	読書やテレビ視聴	散歩や運動	畑仕事	その他
65歳～	11	13	18	4	7
70歳～	14	20	16	7	7
75歳～	11	17	16	11	8
80歳～	1	12	16	9	4
85歳～	2	7	7		1
90歳～	2	3			2
総計	41	72	73	31	29



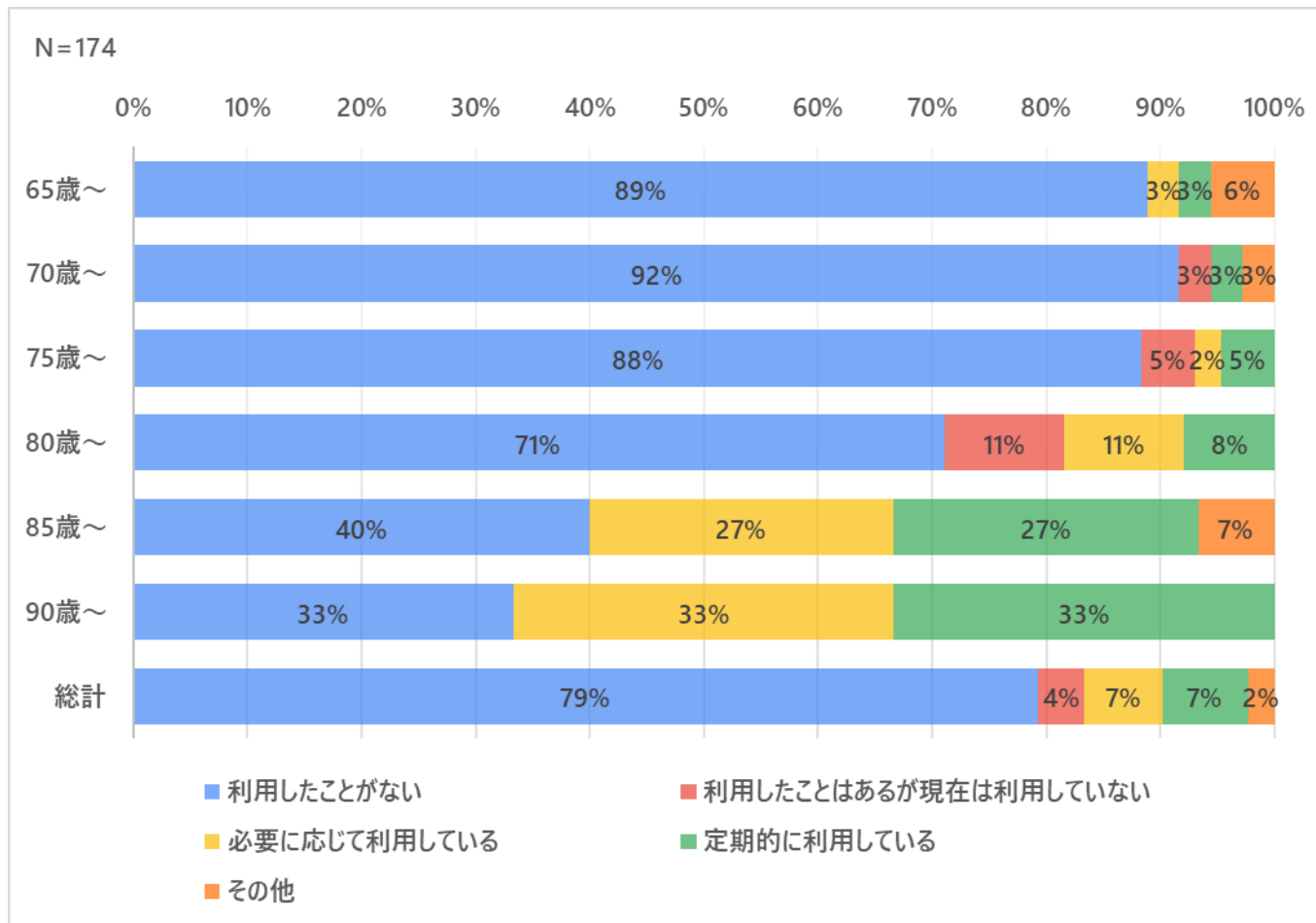
### ◆その他：主な回答

- ・ない(4)
- ・ボランティア活動 ・アルバイト ・仕事
- ・学習活動や文化活動 ・写真、ビデオ、野外活動（防災トレーニング）
- ・謡曲、詩吟、書道、カラオケ、ニュースポーツ ・ベランダ菜園
- ・アマチュア無線、バンド活動、クライミング ・釣り
- ・観光、温泉などの旅行 ・小旅行 ・観劇・友人とのおしゃべり
- ・温泉。ワイン、ビールのおいしい飲み方をさがす。東洋医学
- ・ドラマ、映画鑑賞、ダンス ・書道、詩吟

## 設問6：介護サービスは利用していますか？（複数回答可）

	利用したことがない	利用したことはあるが現在は利用していない	必要に応じて利用している	定期的に利用している	その他
65歳～	32		1	1	2
70歳～	33	1		1	1
75歳～	38	2	1	2	
80歳～	27	4	4	3	
85歳～	6		4	4	1
90歳～	2		2	2	
総計	138	7	12	13	4

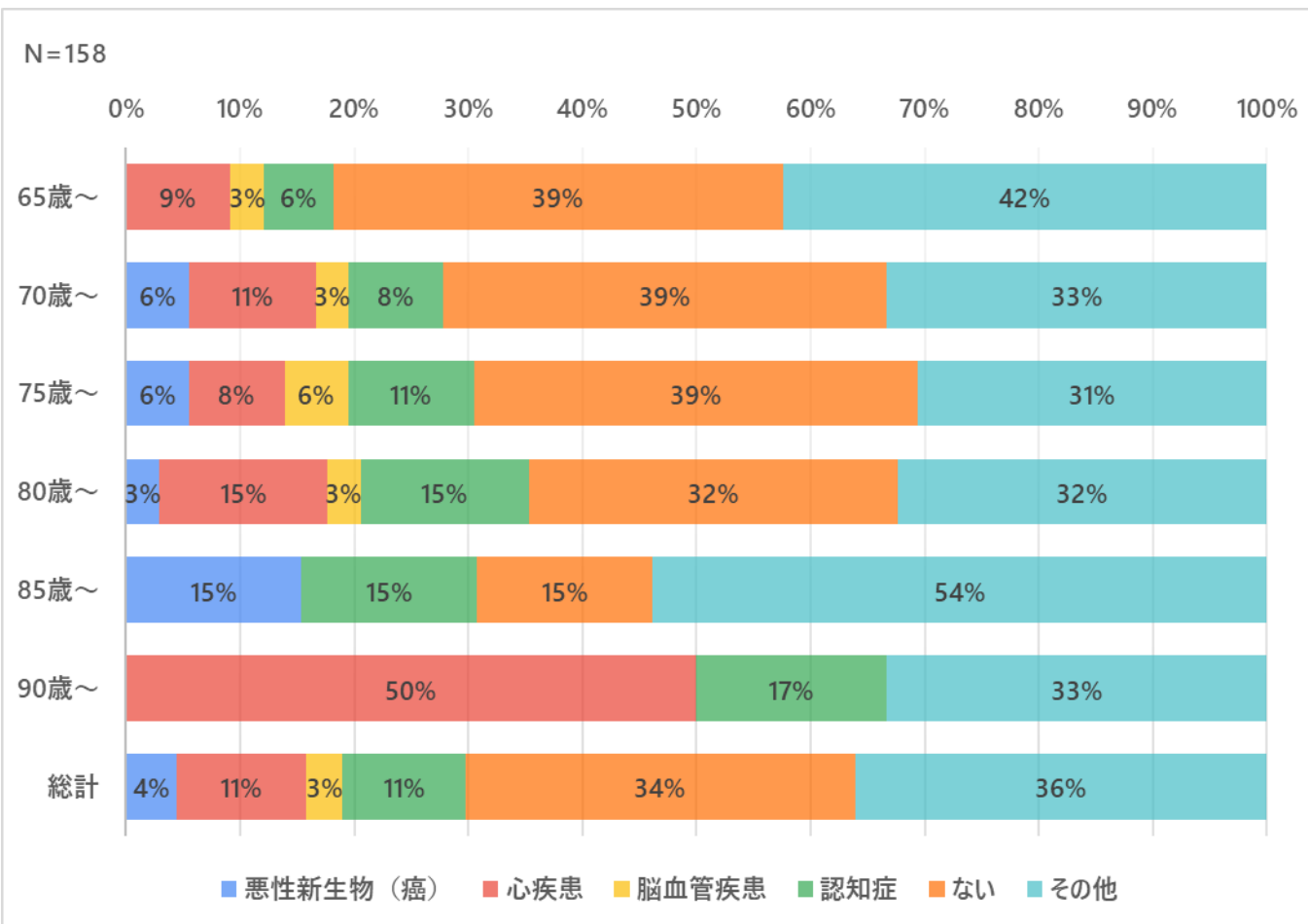
- ◆その他：主な回答
- ・介護認定されたい
  - ・高齢者福祉施設に入所
  - ・親の介護に利用
  - ・母が利用している





設問7：現在自分が抱えている健康上の問題は何ですか？（複数回答可）

	悪性新生物 (癌)	心疾患	脳血管疾患	認知症	ない	その他
65歳～		3	1	2	13	14
70歳～	2	4	1	3	14	12
75歳～	2	3	2	4	14	11
80歳～	1	5	1	5	11	11
85歳～	2			2	2	7
90歳～		3		1		2
総計	7	18	5	17	54	57

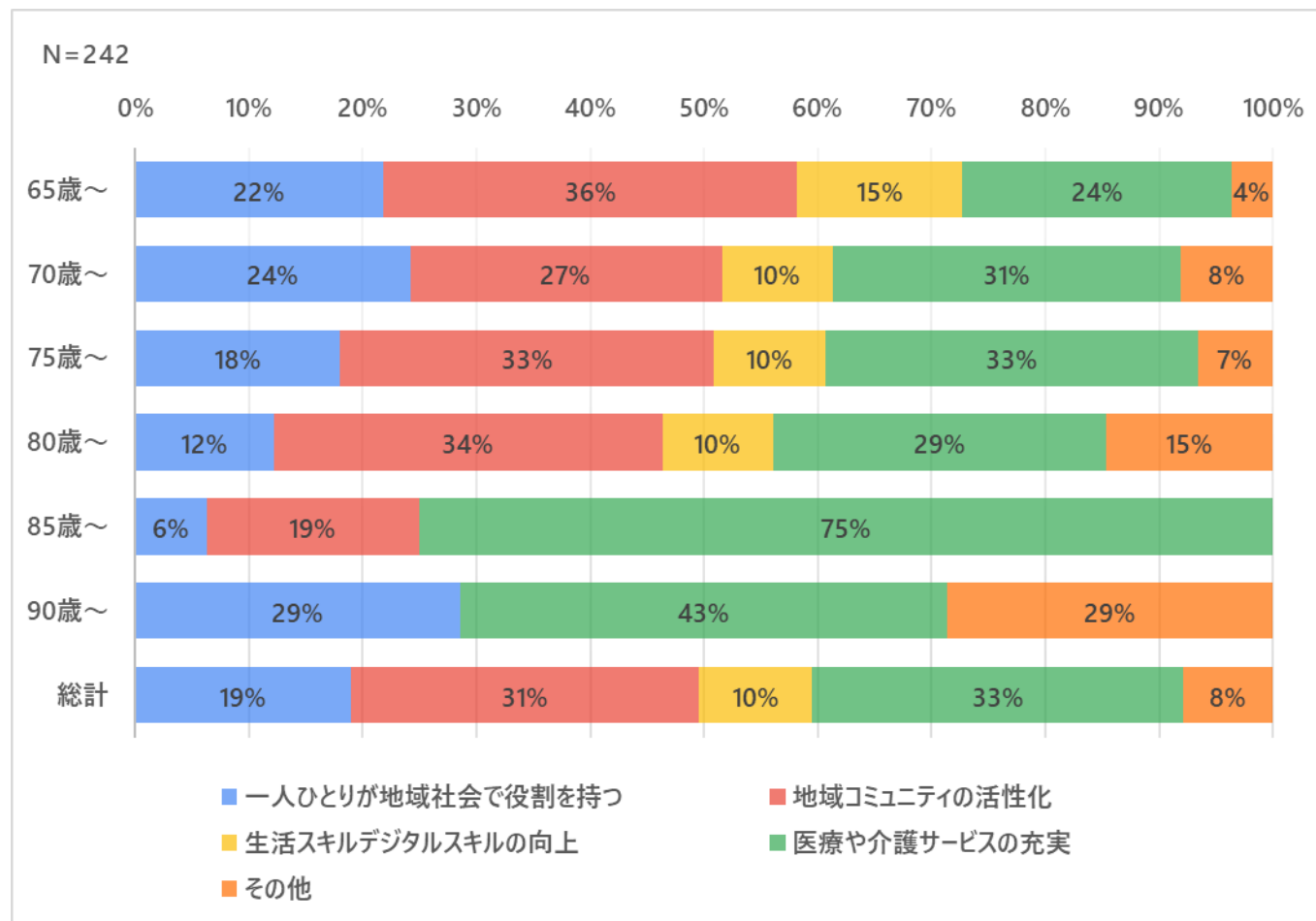


◆その他：主な回答

- ・体力の衰え(3) ・高血圧(2) ・腰痛(2) ・生活習慣病(2)
- ・基礎疾患 ・うつ病 ・不安障害、鬱 ・メンタル不調
- ・関節リウマチ ・股関節痛 ・足腰の衰え ・足腰の痛み
- ・痛風 ・喘息 ・糖尿病 ・動脈瘤、前立せん肥大 ・無呼吸症候群
- ・問題とまではなっていないが認知機能の低下は日々感じています
- ・メタボ、高血圧
- ・立ち仕事のためか背中と腰が痛い（週に1～2回整体）

設問8：望ましい高齢化社会を考えると、重要な要素は何だと思いますか？（複数回答可）

	一人ひとりが地域社会で役割を持つ	地域コミュニティの活性化	生活スキルデジタルスキルの向上	医療や介護サービスの充実	その他
65歳～	12	20	8	13	2
70歳～	15	17	6	19	5
75歳～	11	20	6	20	4
80歳～	5	14	4	12	6
85歳～	1	3		12	
90歳～	2			3	2
総計	46	74	24	79	19

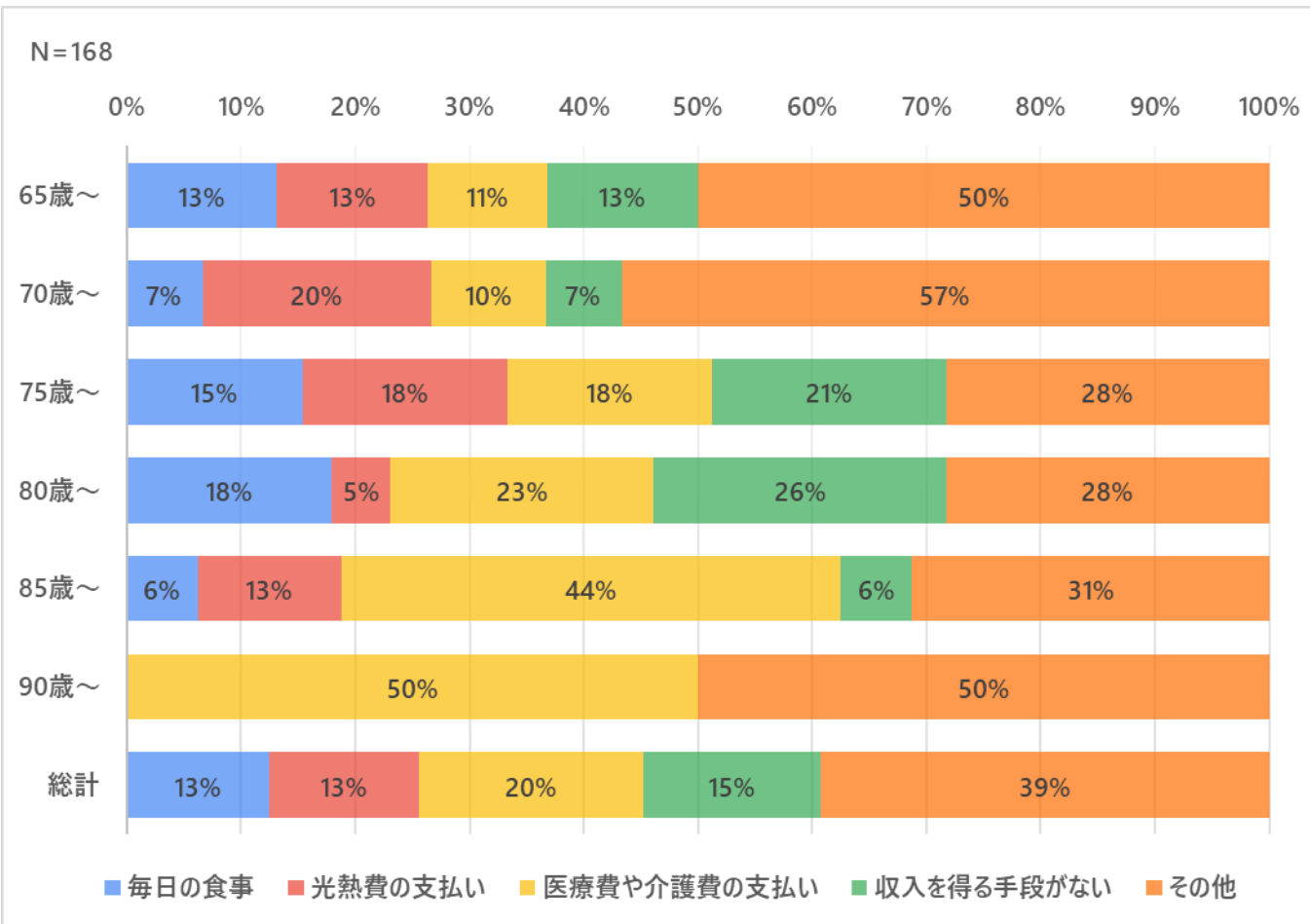


◆その他：主な回答

- ・よくわからない(5)
- ・人との交わり 友人を持つ ・ 独居高齢者への日々の安否確認
- ・一人でもそれなりに生活できるインフラ（車社会でも困らないように）
- ・高齢者が積極的に能力に応じた地域への関与ができる事
- ・高齢者に配慮した社会（文字の大きさ、タッチパネル、高さなど）
- ・自我、目標（趣味）、親交（友人）・趣味や楽しみを持つ事。
- ・進んで仕事をする事、趣味を愉しむこと、お金を稼ぐこと
- ・生活資金と健康、家族や友人、趣味

設問9：生活費の面で困っていることは何ですか？（複数回答可）

	毎日の食事	光熱費の支払い	医療費や介護費の支払い	収入を得る手段がない	その他
65歳～	5	5	4	5	19
70歳～	2	6	3	2	17
75歳～	6	7	7	8	11
80歳～	7	2	9	10	11
85歳～	1	2	7	1	5
90歳～			3		3
総計	21	22	33	26	66



◆その他：主な回答

- ・ない(43)
- ・介護 ・父母の介護 ・親の入院 ・予期せぬ出費（病気やケガ）
- ・物価高 ・収入の維持 ・年金収入が少ない ・低利息 ・経済的自立
- ・今は困っていないが、収入が将来年金だけになると困るかも知れない
- ・生きがいが感じられない ・仲間づくり ・妻まかせ
- ・緊急に困っていることはない 選択肢に特になしを入れてもよいかも

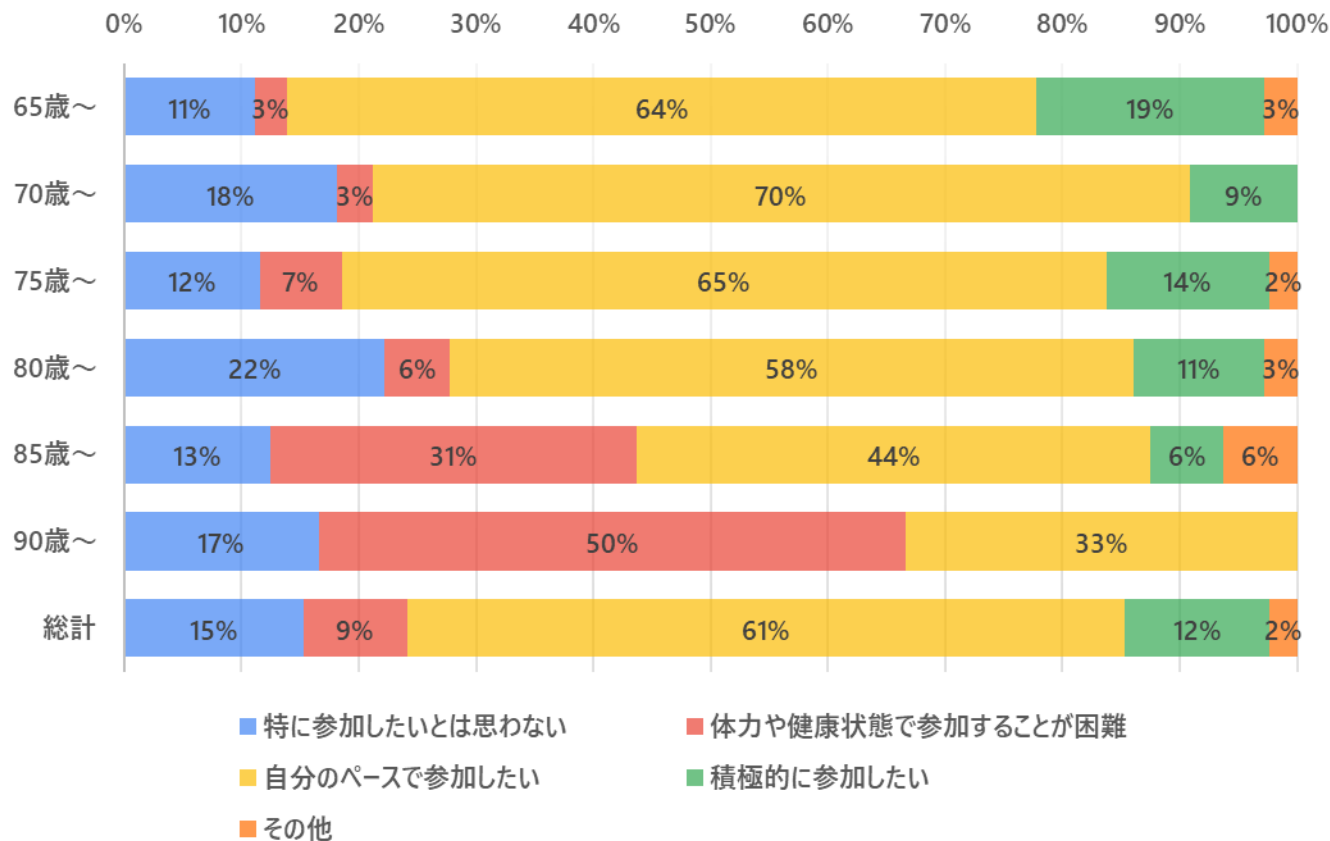
## 設問10：社会参加を望んでいますか？（どれか1つ）

	特に参加したいとは思わない	体力や健康状態で参加することが困難	自分のペースで参加したい	積極的に参加したい	その他
65歳～	4	1	23	7	1
70歳～	6	1	23	3	
75歳～	5	3	28	6	1
80歳～	8	2	21	4	1
85歳～	2	5	7	1	1
90歳～	1	3	2		
総計	26	15	104	21	4

### ◆その他：主な回答

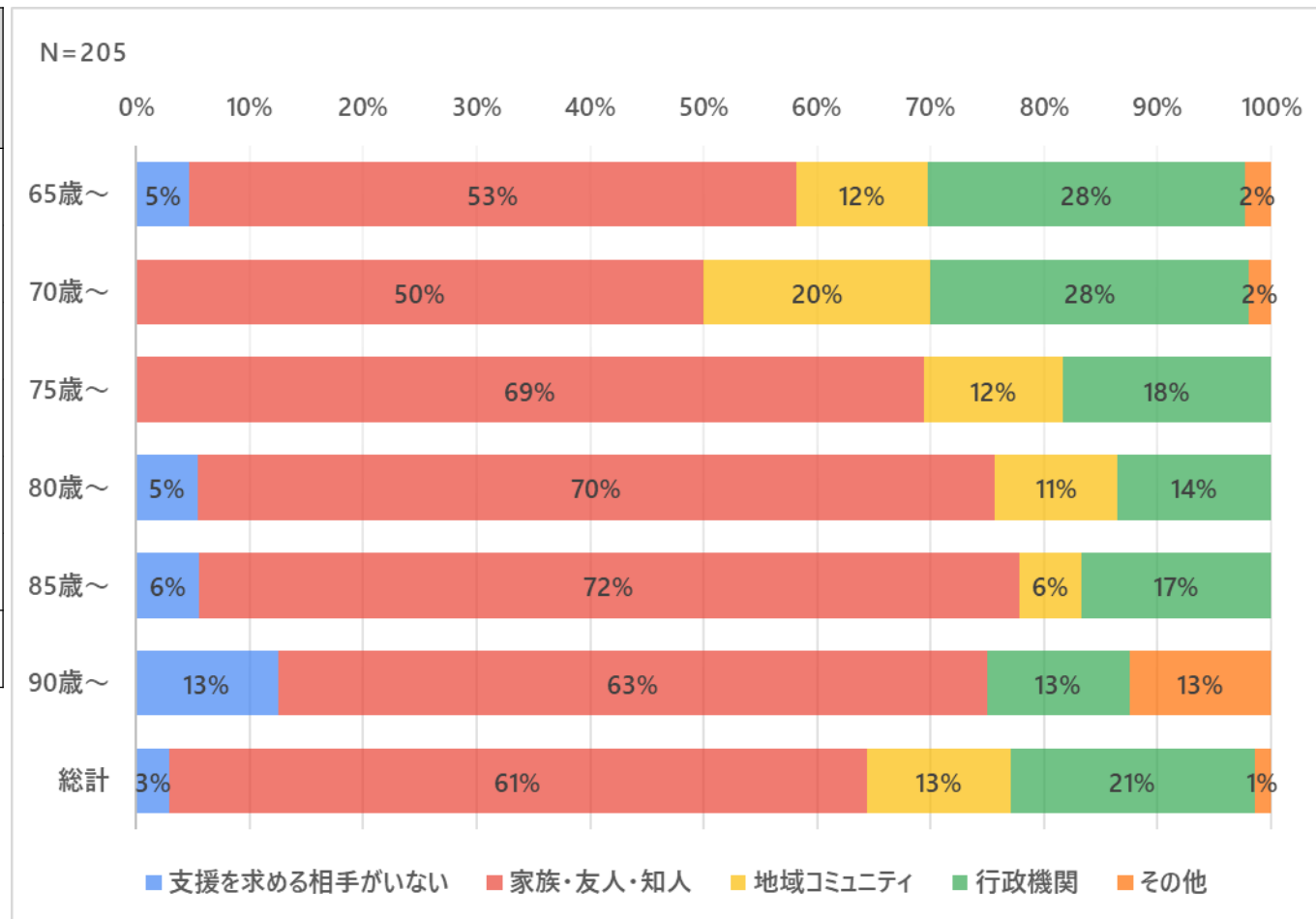
- ・できることがあればやってみたい
- ・参加したいが介護の関係でできない
- ・自分を活かせるものがあれば是非参加したい。
- ・地域公民館で卓球や町内でのグランドゴルフ練習に参加している

N=170



設問11：もし支援が必要な場合、誰に支援を求めますか？（複数回答可）

	支援を求める相手がいない	家族・友人・知人	地域コミュニティ	行政機関	その他
65歳～	2	23	5	12	1
70歳～		25	10	14	1
75歳～		34	6	9	
80歳～	2	26	4	5	
85歳～	1	13	1	3	
90歳～	1	5		1	1
総計	6	126	26	44	3



◆その他：主な回答  
 ・介護サービス  
 ・自分で何とかしているが・・・  
 ・親戚

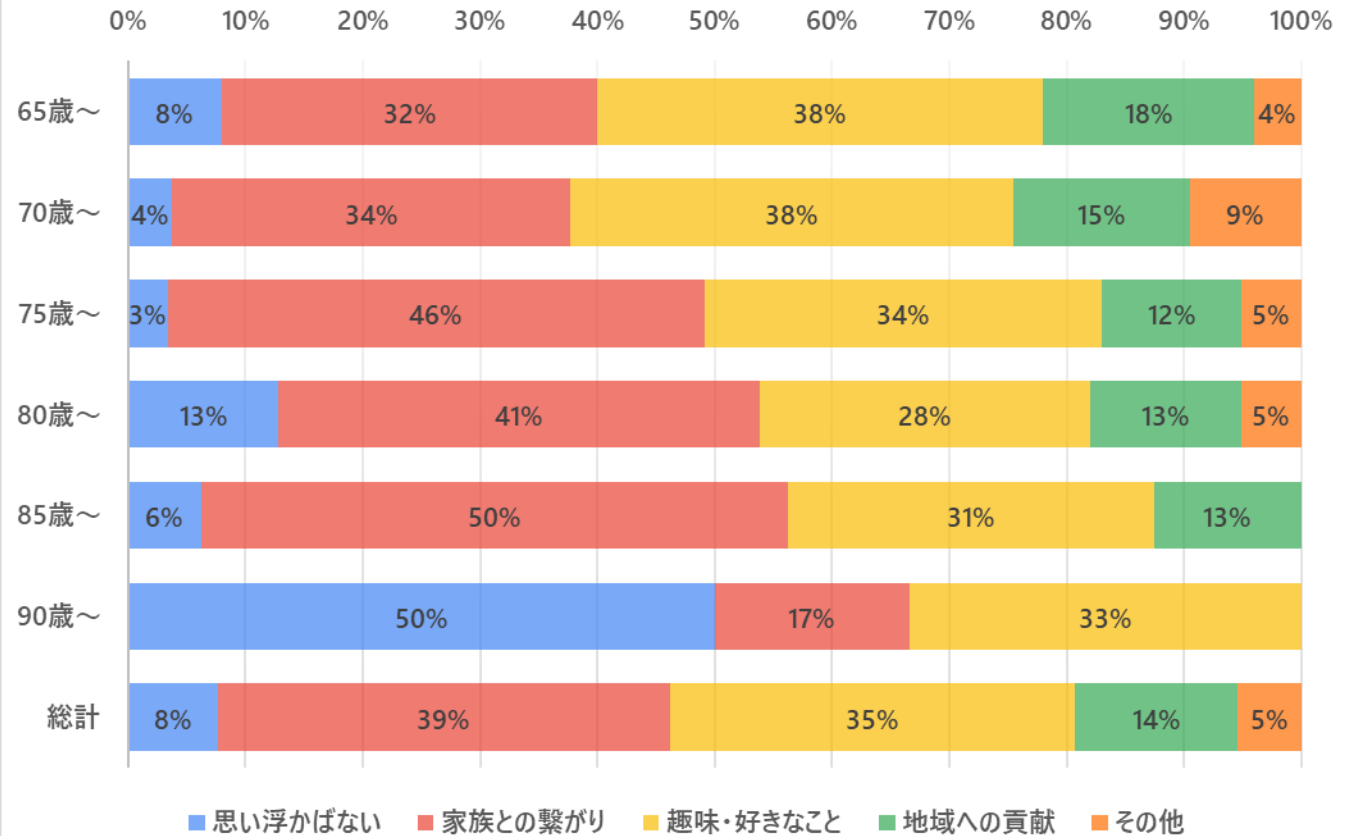
設問12：生きがいや生きる意義は何ですか？（複数回答可）

	思い浮かばない	家族との繋がり	趣味・好きなこと	地域への貢献	その他
65歳～	4	16	19	9	2
70歳～	2	18	20	8	5
75歳～	2	27	20	7	3
80歳～	5	16	11	5	2
85歳～	1	8	5	2	
90歳～	3	1	2		
総計	17	86	77	31	12

◆その他：主な回答

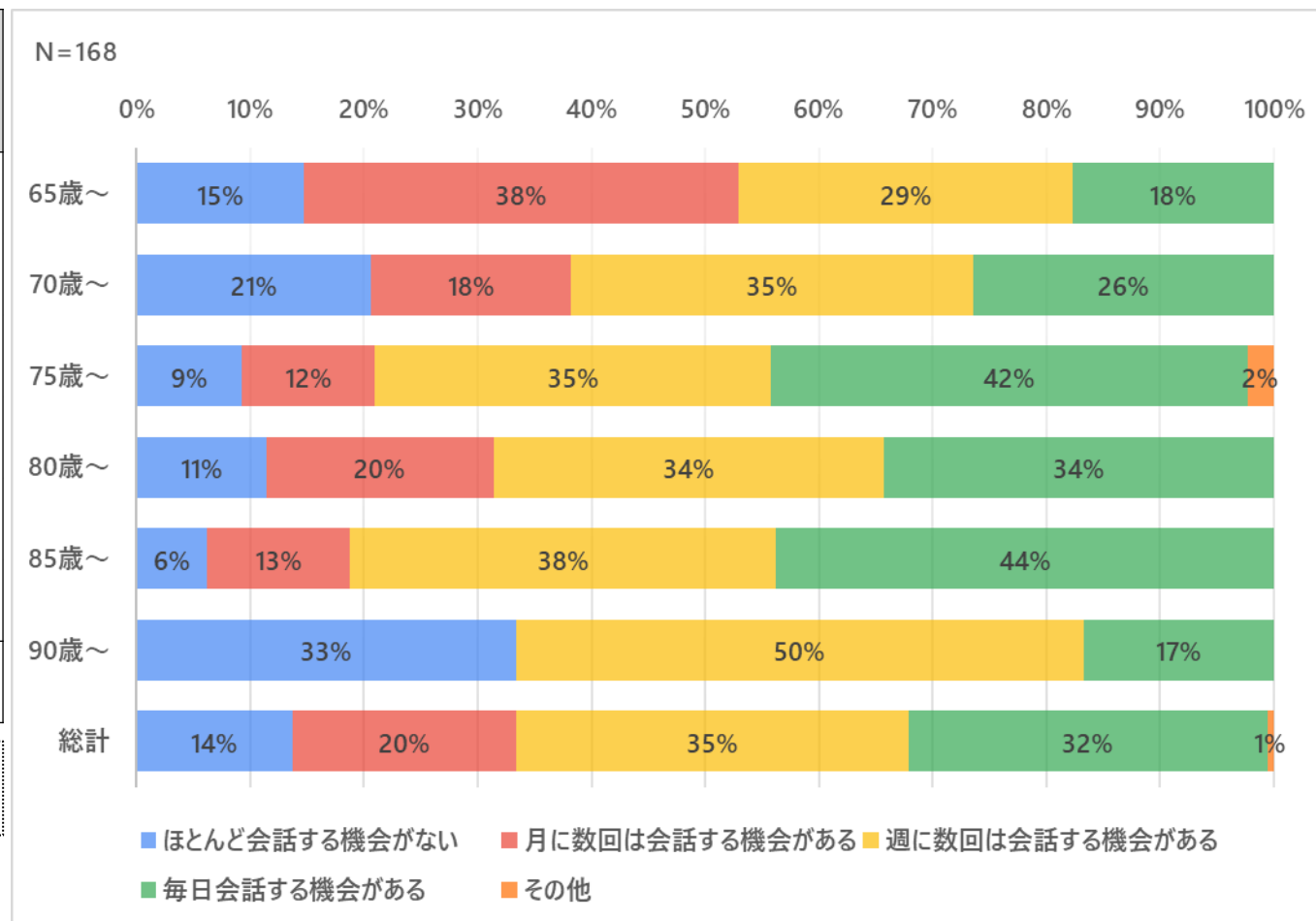
- ・仕事(4)
- ・のんびりしていれば十分
- ・生かされていること
- ・信仰生活、ボランティア活動
- ・新しい事への挑戦
- ・人の役に立つことができる時。
- ・生き甲斐を探し続ける事。
- ・体力があれば山登り
- ・友人とのかかわり

N=223



### 設問13：近所や地域の人々とのコミュニケーションはどのくらい取れていますか？（どれか1つ）

	ほとんど会話する機会がない	月に数回は会話する機会がある	週に数回は会話する機会がある	毎日会話する機会がある	その他
65歳～	5	13	10	6	
70歳～	7	6	12	9	
75歳～	4	5	15	18	1
80歳～	4	7	12	12	
85歳～	1	2	6	7	
90歳～	2		3	1	
総計	23	33	58	53	1



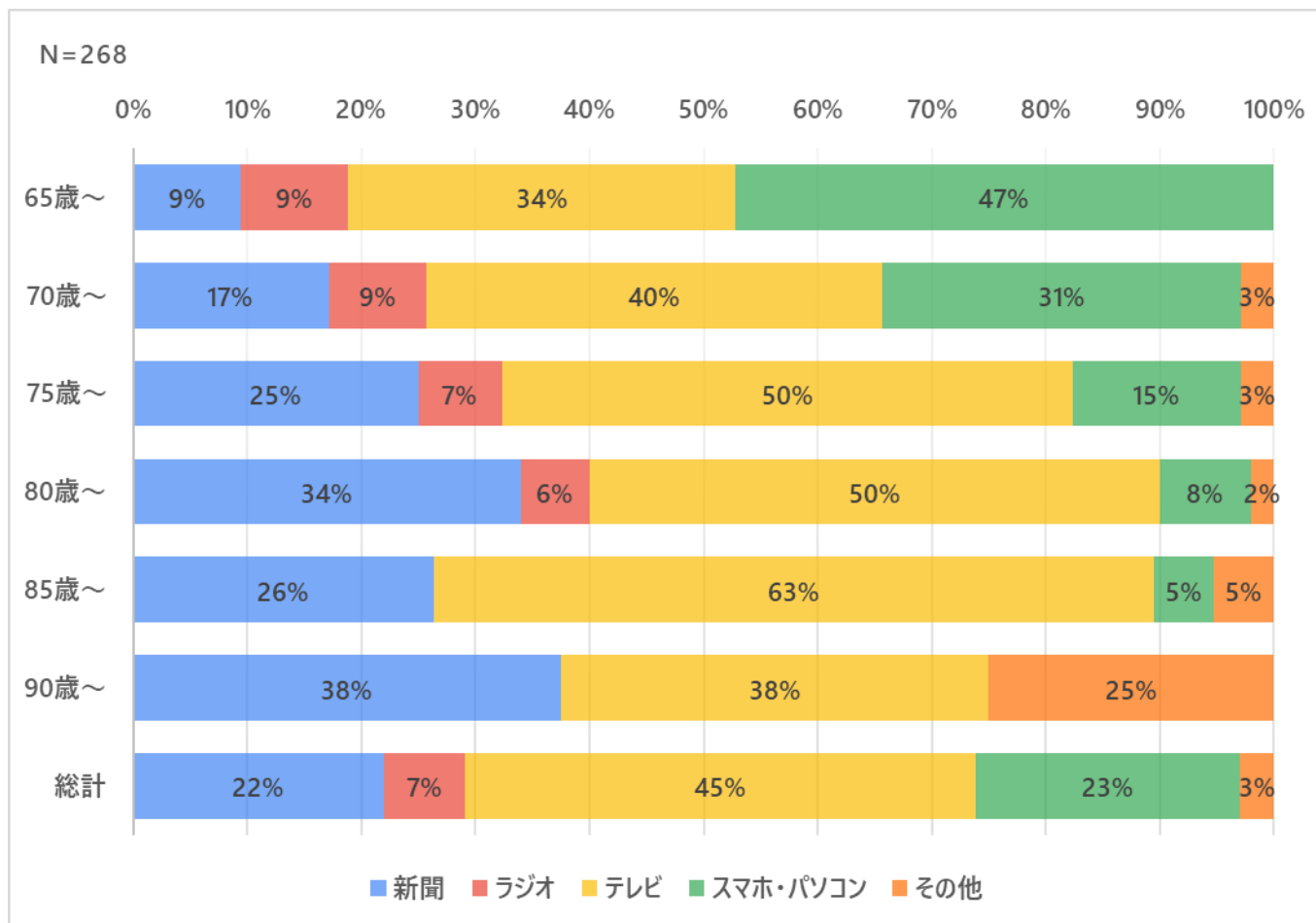
◆その他：主な回答  
・友達とよく電話でお喋り

## 設問14：普段、情報をどこから得ていますか？（複数回答可）

	新聞	ラジオ	テレビ	スマホ・パソコン	その他
65歳～	5	5	18	25	
70歳～	12	6	28	22	2
75歳～	17	5	34	10	2
80歳～	17	3	25	4	1
85歳～	5		12	1	1
90歳～	3		3		2
総計	59	19	120	62	8

◆その他：主な回答

- ・ SNSの友達、畑の仲間
- ・ 会話から
- ・ 講演会等
- ・ 施設内の職員との会話
- ・ 地域の友人、掲示板、地域の飲食店
- ・ 認知症
- ・ 友人との会話で地域の出来事を知ることが多い
- ・ 友人や家族



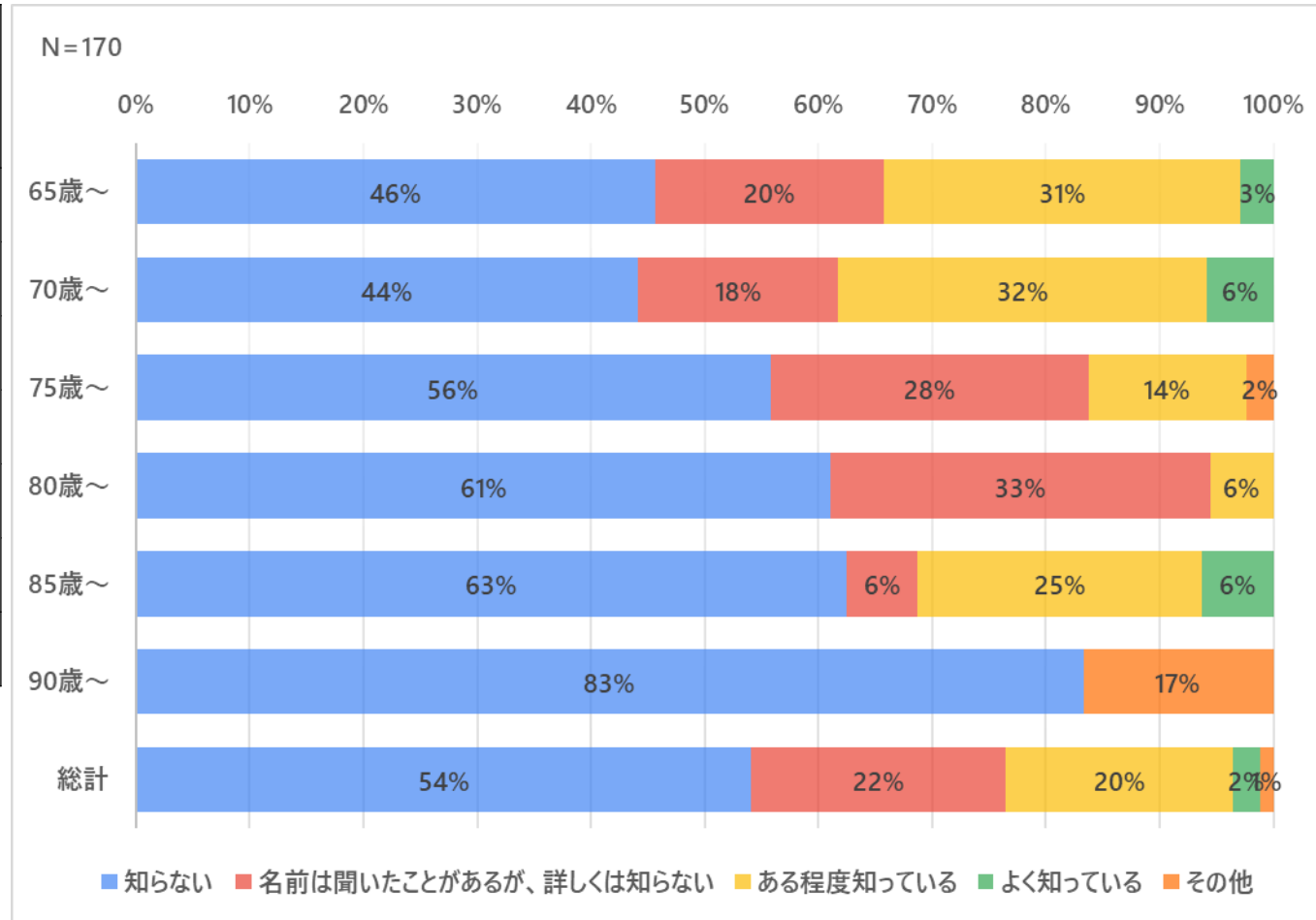


# 設問15：Society5.0:デジタル社会について何か知っていますか？（どれか1つ）

	知らない	名前は聞いたことがあるが、詳しくは知らない	ある程度知っている	よく知っている	その他
65歳～	16	7	11	1	
70歳～	15	6	11	2	
75歳～	24	12	6		1
80歳～	22	12	2		
85歳～	10	1	4	1	
90歳～	5				1
総計	92	38	34	4	2

◆その他：主な回答

- ・ついていけない
- ・高齢化に伴い新しいことへの積極性が弱まるのが原因

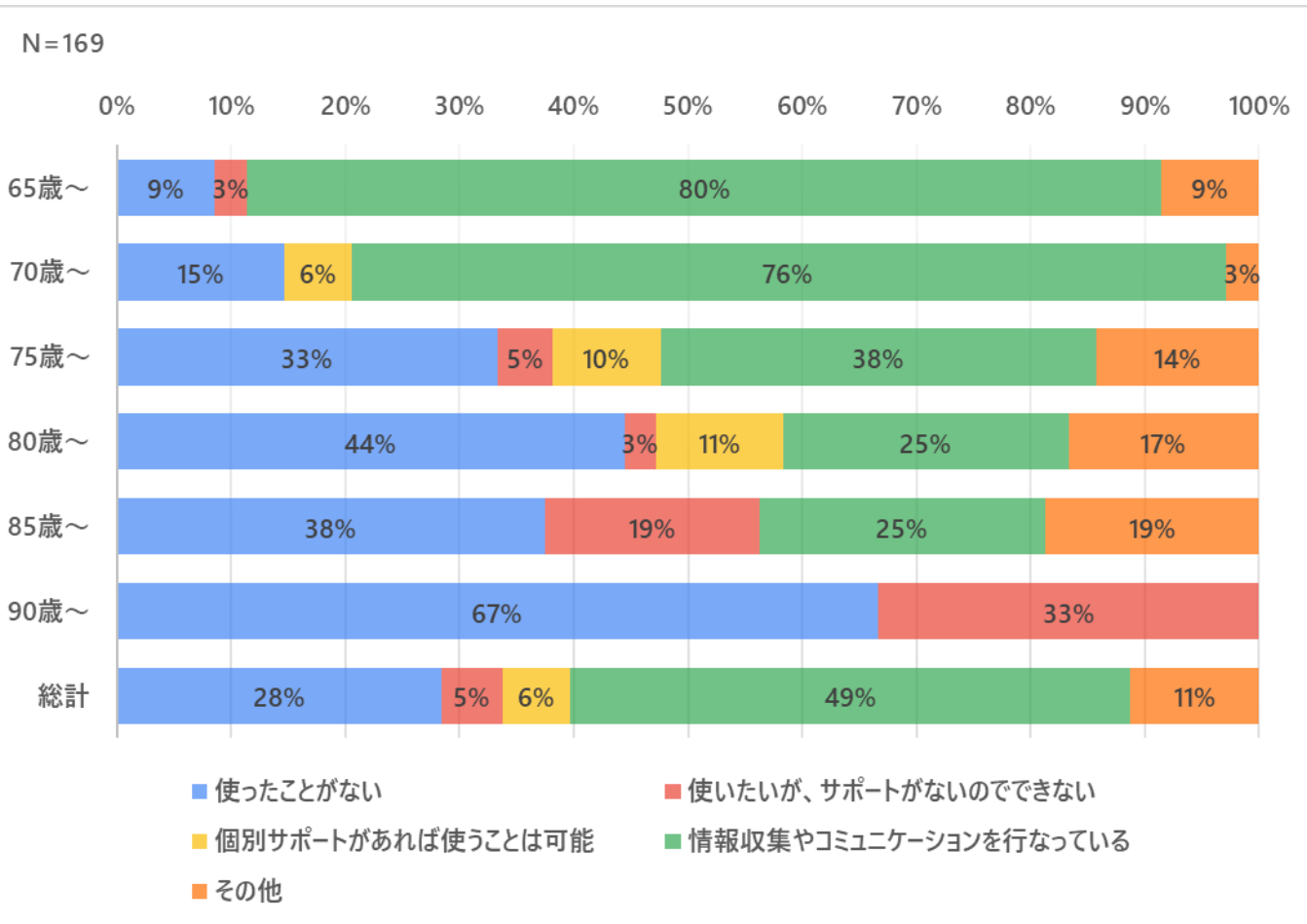


## 設問16：デジタルツール（スマートフォン・パソコン等）を利用することはありますか？（どれか1つ）

	使ったことがない	使いたい、サポートがないのでできない	個別サポートがあれば使うことは可能	情報収集やコミュニケーションを行なっている	その他
65歳～	3	1		28	3
70歳～	5		2	26	1
75歳～	14	2	4	16	6
80歳～	16	1	4	9	6
85歳～	6	3		4	3
90歳～	4	2			
総計	48	9	10	83	19

### ◆その他：主な回答

- ・スマートフォンは持っているが、電話でしか使用していない
- ・スマホ PCを持っていない 今は携帯電話（ガラケー）で不自由がない
- ・デジタルツールで情報収集やコミュニケーションしている
- ・メールのみ利用
- ・めんどくさい
- ・通話とゲームはできる
- ・電話、メールでのみスマートフォンを使用
- ・毎日使う 友人との電話をするだけで他はサポートがないのでできない

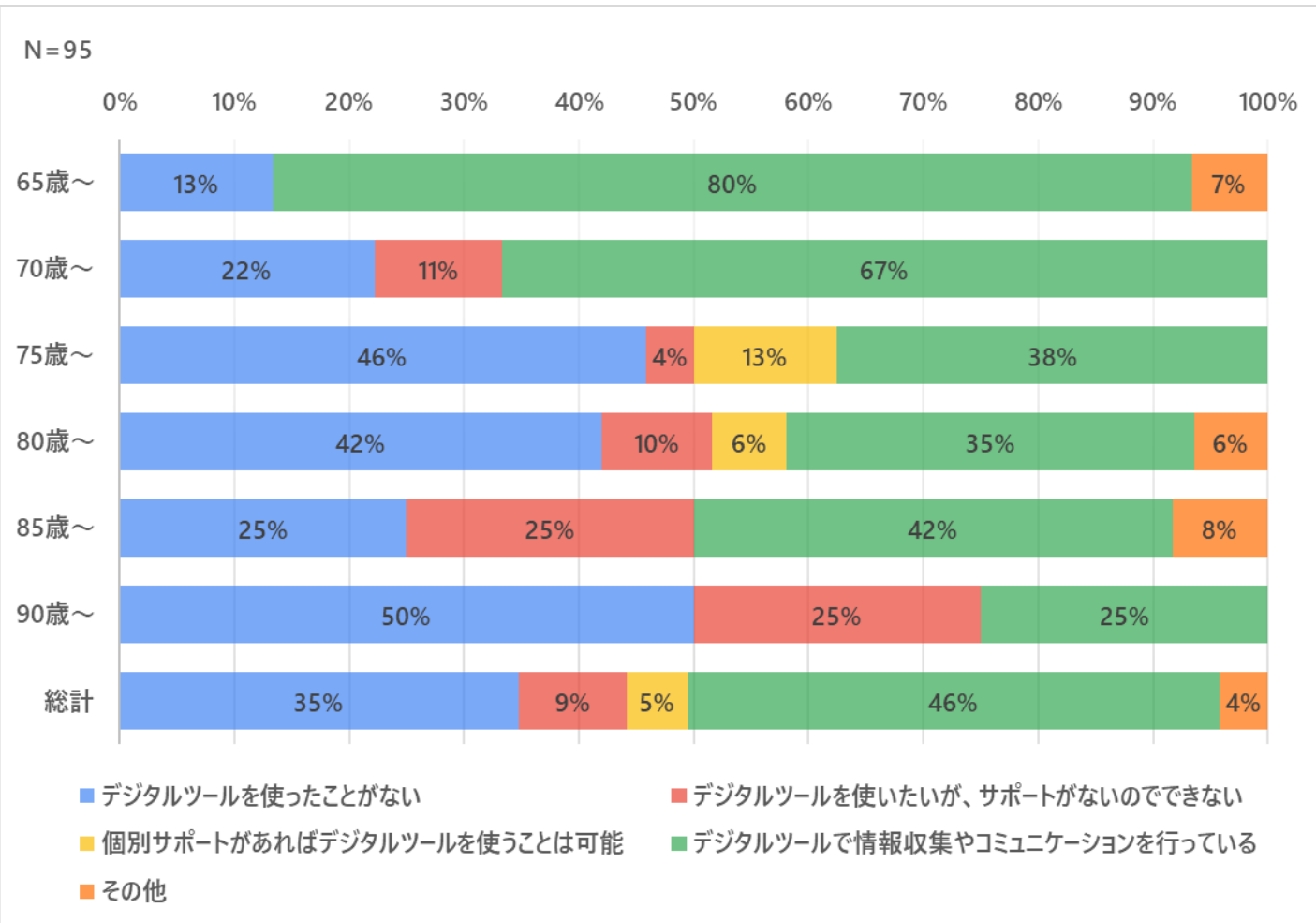


設問17： デジタルツール（スマートフォン・パソコン等）を使いコミュニケーションをとることはできますか？（どれか1つ）

	デジタルツールを使ったことがない	デジタルツールを使いたいが、サポートがないのでできない	個別サポートがあればデジタルツールを使うことは可能	デジタルツールで情報収集やコミュニケーションを行っている	その他
65歳～	2			12	1
70歳～	2	1		6	
75歳～	11	1	3	9	
80歳～	13	3	2	11	2
85歳～	3	3		5	1
90歳～	2	1		1	
総計	33	9	5	44	4

◆その他：主な回答

- ・めんどくさい
- ・機能が多く使いきれない
- ・現在は携帯電話だけで不自由がない
- ・子や孫、友人とラインで対面している

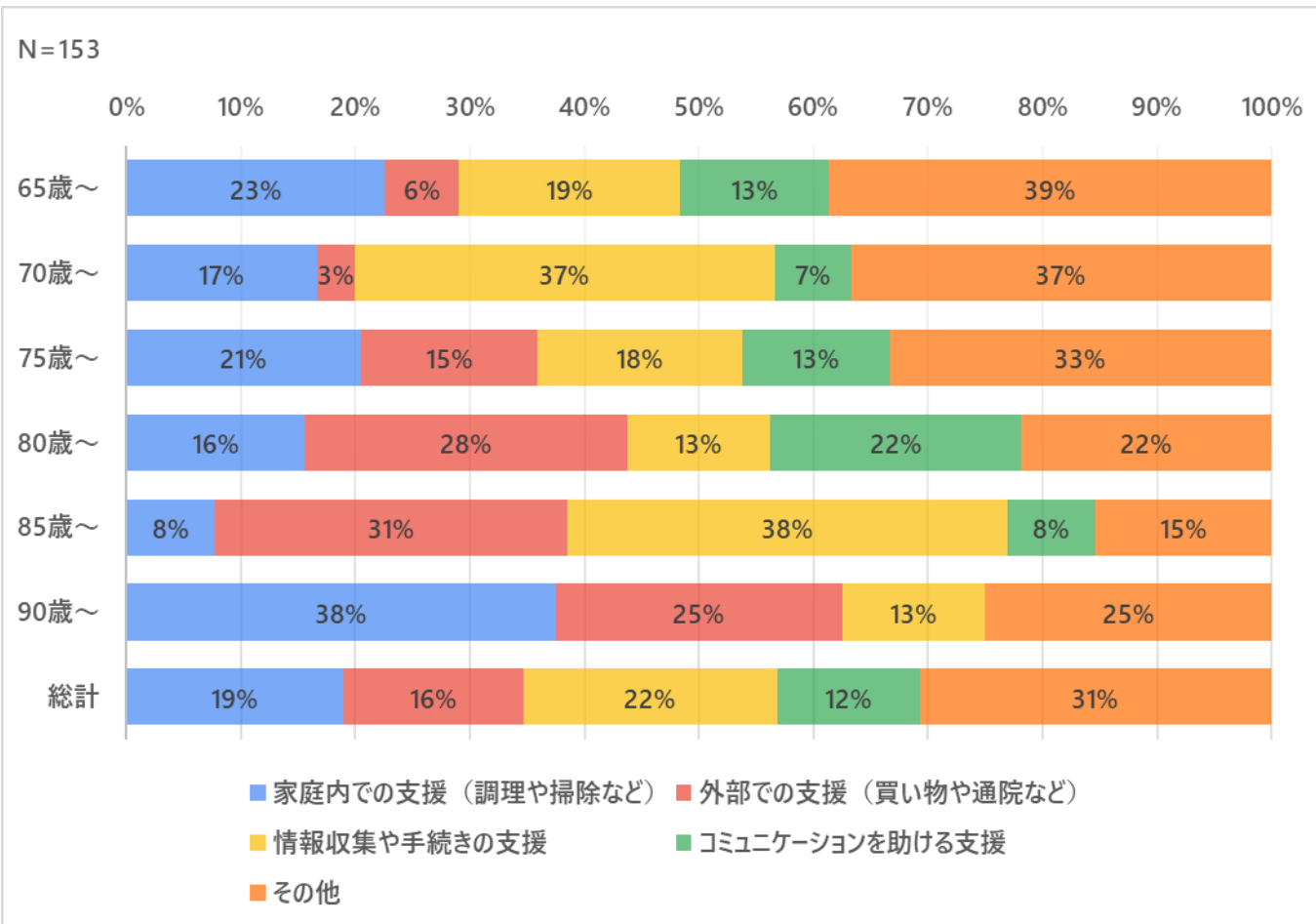


## 設問18：自分が必要としている支援は何ですか？（複数回答可）

	家庭内での支援（調理や掃除など）	外部での支援（買い物や通院など）	情報収集や手続きの支援	コミュニケーションを助ける支援	その他
65歳～	7	2	6	4	12
70歳～	5	1	11	2	11
75歳～	8	6	7	5	13
80歳～	5	9	4	7	7
85歳～	1	4	5	1	2
90歳～	3	2	1		2
総計	29	24	34	19	47

### ◆その他：主な回答

- ・なし(33)
- ・現状では特にない。 ・今はないが将来は必要になる
- ・PC、スマホの複雑な操作、トラブル対策
- ・同志仲間の理解と応援
- ・健康増進活動
- ・家の掃除 ・庭の手入れなどの労働 ・高いところの物の上げ下げ
- ・認知症 ・食べること
- ・独居生活であるため日々の安否確認
- ・役所などの手続き

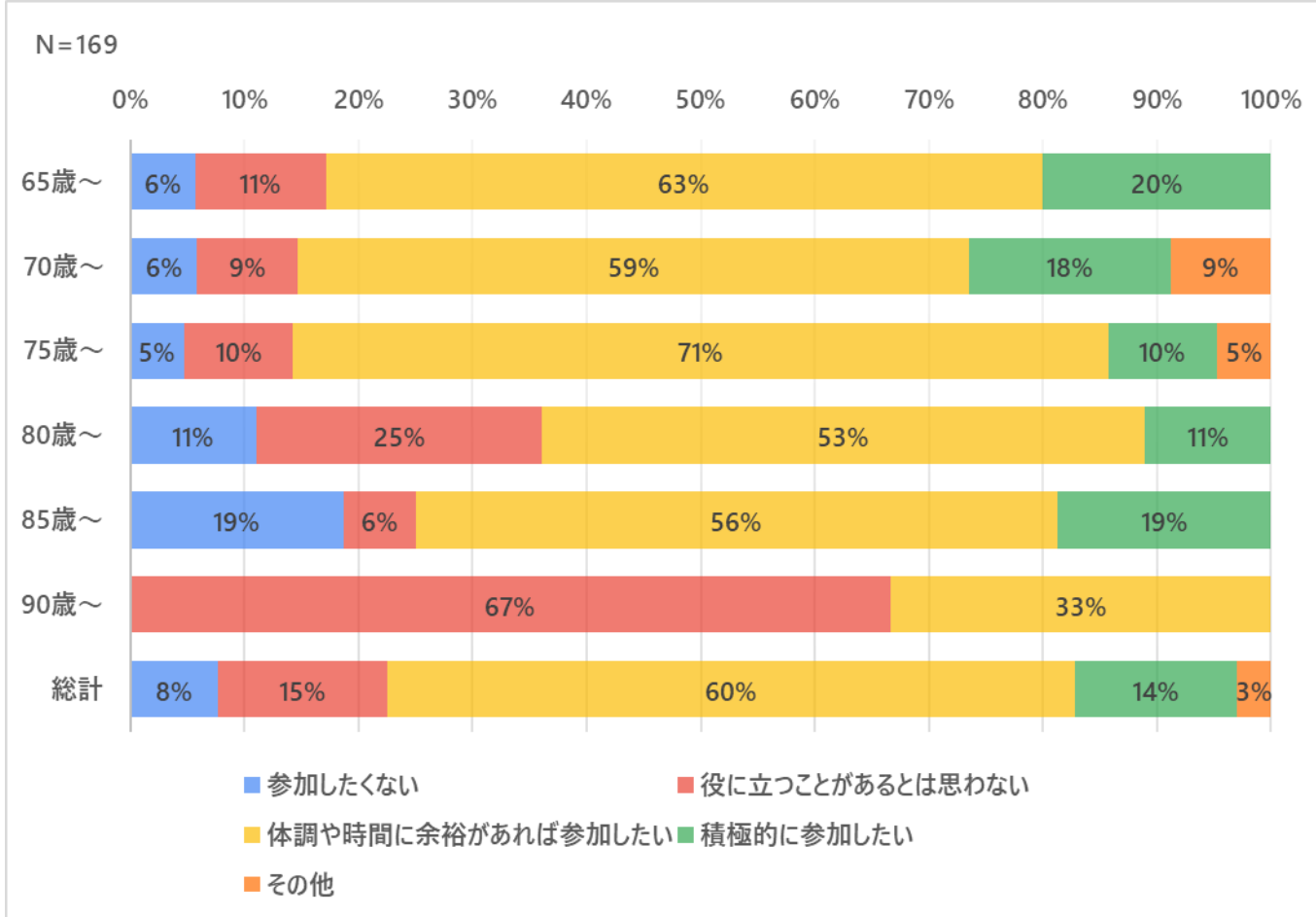


## 設問19：使い易そうなデジタルサービスがあれば利用したいと思いますか？（どれか1つ）

	参加したくない	役に立つことが あるとは思わ ない	体調や時間に 余裕があれば 参加したい	積極的に参加 したい	その他
65歳～	2	4	22	7	
70歳～	2	3	20	6	3
75歳～	2	4	30	4	2
80歳～	4	9	19	4	
85歳～	3	1	9	3	
90歳～		4	2		
総計	13	25	102	24	5

### ◆その他：主な回答

- ・ デジタルサービスが何かわからない
- ・ 認知症
- ・ 子や孫、友人とラインで対面している
- ・ 買物ポイントをうまく使いたいがよくわからない。
- ・ 料金次第
- ・ 質問があいまいでよくわかりません。



設問20：これまでの人生で学んだ経験や知識を地域社会に役立てる機会があれば参加したいと思いますか？（どれか1つ）

	参加したくない	役に立つことがあるとは思わない	体調や時間に余裕があれば参加したい	積極的に参加したい	その他
65歳～	2	4	22	7	
70歳～	2	3	20	6	3
75歳～	2	4	30	4	2
80歳～	4	9	19	4	
85歳～	3	1	9	3	
90歳～		4	2		
総計	13	25	102	24	5

◆その他：主な回答

- ・既に参加している(2)
- ・しているつもり
- ・求められれば参加する
- ・よくわからない

